

# 「おうみ学生未来塾」(2017年度) 受講案内

## 未来のために受講してみませんか

### 1、「おうみ学生未来塾」(大学連携型PBL科目)とは

- ☑ 豊かな自然と歴史、都市から農山漁村まで様々な地域の特徴をもつ「おうみ」(滋賀県)をフィールドに、地域に出かけ、地域の人々と話し合っ、課題を発見し、具体的な解決をめざすトレーニングを行います。実践的な課題解決能力、コミュニケーション能力を向上させ、自ら未来を切りひらく力を高めることができます。
- ☑ 滋賀県内12大学・短期大学と地域の自治体などが協力し、地域で、他大学の学生と一緒に学び、交流する機会を提供します。
- ☑ 滋賀県内の大学・短期大学に所属する学生は、だれでも受講できます。対象は、四年制大学が2年次以上、短期大学が1年次以上です。
- ☑ 単位互換制度により所属大学・短期大学の単位として認定されます。
- ☑ 受講料は無料です。ただし、受講地までの交通費、合宿費などが必要です。
- ☑ おうみ学生未来塾科目は、1年に1科目のみ出願できます。



### 2、大学連携型PBL科目とは

- ☑ 「おうみ学生未来塾」は大学連携型PBL科目です。

たとえ知識を持っていても、いざ現実の問題に直面したら、どうしていいのかわからないのが普通です。PBL(Problem Based Learning)科目は課題解決型学習と呼ばれ、身近な問題や事例を素材とし、問題発見・問題解決に向けてチームで取り組む手法を用いた科目です。知識あるいは情報を補いながら、現実の問題解決に応用していくトレーニングをはじめ、チーム内で他者から学ぶ手法や他者と一緒に問題解決に主体的・能動的に関わろうとする態度を養うことができます。
- ☑ 多様な学生が集う大学連携型のメリット

滋賀県内には専門分野の異なる大学・短期大学が12校もあり、そこに学ぶ学生が、それぞれの視点や知識を持ち寄ることで、現実の問題を多面的に理解することができます。そこから多面的な解決策を提案し、最も効果的で実行可能なものを選択することができます。さらに、異なる大学・短期大学の学生と体験を共有し、コミュニケーションできることも大きなメリットです。

### 3、2017年度「おうみ学生未来塾」科目

#### ① おうみ学生未来塾・湖北

## 地方活性化を担う観光産業の振興と課題

長浜の黒壁を中心とするまちづくりは、日本のまちづくりの成功例として高く評価されています。この成功により入込客数は大幅に増え、黒壁が誕生した平成元年には10万人ほどであった来街者数は、平成13年に200万人を超えるに至りました。しかし、直近10年間の来街者数は180万～200万人でほぼ横ばいとなっており、踊り場脱却のための方策が求められています。また、2010年の1市6町合併により、県下第一位の陸地面積を誇るようになっており、この点からも新たな観光戦略が必要となっています。



長浜市街地と伊吹山

この授業では、長浜の特色ある観光産業と抱える課題について関係者からお話を伺うとともに、長浜における観光ビジネスの可能性について、フィールド調査・分析を行いつつ考察します。

観光産業振興の取り組みについて知るまたとない機会です。ぜひ参加してみませんか。

長浜バイオ大学・長浜市役所・長浜商工会議所 提供

科目名 おうみ学生未来塾（湖北）

実施場所 滋賀県長浜市田村町1266

長浜バイオ大学、同大学町家キャンパス

実施時期 8月21日（月）、22日（火）、23日（水）  
9：30～18：00

担当教員 長浜バイオ大学 教授 松島三兒、非常勤講師 近藤紀章

授業テーマ 「地方活性化を担う長浜の観光産業の振興と課題」

到達目標 ① 長浜の環境産業と課題について理解する。

② 調査から提言に至る論理的思考プロセスを理解できる。

授業形態 1日目 大学集合・オリエンテーション、企業経営者等による講義

2日目 長浜の観光関連企業の訪問調査、グループ別調査分析

3日目 グループディスカッション、発表、レポート作成

受講対象 大学2年次以上 短期大学1年次以上

成績評価 レポート100% 2単位

受講生定員 36名（ただし、受講者が少人数の場合は開講しないことがある。）

アクセス等 1日目、3日目 長浜バイオ大学 JR田村駅から徒歩2分

2日目 町家キャンパス JR長浜駅東口から黒壁方面徒歩10分

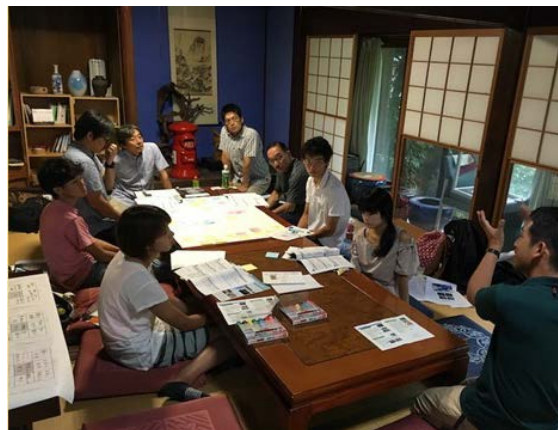
費用負担 開講地までの交通費

## ② おうみ学生未来塾・湖東

# いま、ここにあるめぐみを活かす地域デザイン

地域本来の力や資源を活かした地域づくり・地域再生を実現するための考え方と手法を実践的に学ぶ。具体的な地域再生の事例を参考に、フィールドワークやワークショップの企画、実施、地域再生策の提案までの過程に主導的に取り組む。こうした実践を通して、フィールドワークやワークショップの技法、ファシリテーションの手法、地域課題の把握から解決策の提案までのノウハウを修得する。

- ① 夏期3日間の集中講義として行う。  
(2017年度は8月18日、19日、20日を予定)。
- ② 学生、院生混成によるチームを編成し、フィールドワークやワークショップに臨む。
- ③ 地域から提起されたホットでリアルなフィールドや課題に挑む。
- ④ 地域の方々と共に歩き、考え、具体的な企画・提案を作成する。



滋賀県立大学・東近江地域デザインカレッジ八日市まちなかキャンパス、他 提供

科目名 おうみ学生未来塾（湖東）（滋賀県立大学科目名「地域デザイン A」）

実施場所 滋賀県立大学、東近江市内、および県内 COC 連携自治体内  
東近江市内のフィールドは以下を予定（履修登録者数により調整し、変更する場合がある）

- ・長（おさ）地区 株式会社金壽堂（梵鐘等鋳造メーカー）
- ・八日市中心市街地（本町商店街等）
- ・能登川駅前地区（駅前商店街等）

実施時期 8月18日（金）、19日（土）、20日（日）9：00-18：00

担当教員 滋賀県立大学 上田 洋平 助教 ほか

授業テーマ 「いま、ここにあるめぐみを活かす地域デザイン」

到達目標 (1) 様々な地域再生事業の概要及び実施手法について理解し説明できる。

- (2) フィールドワークやワークショップにより地域の現状と課題についての確に把握し整理することができる。
- (3) 地域資源を活かした地域再生事業を企画し提案することができる。

授業形態

1日目 座学・ワークショップ  
2日目 フィールドワーク  
3日目 チームごとに地域再生提案をまとめ、発表・講評

受講対象

大学2年次以上

短期大学1年次以上

成績評価

到達目標に示す(1)(2)についてはワークブック(70%)により、(3)についてはフィールドワーク成果物および成果物に基づくプレゼンテーション(30%)により評価する。



定員

30名

アクセス等

滋賀県立大学。各フィールドへの移動は貸し切りバスを手配。

費用負担

大学および貸し切りバス乗車集合場所までの交通費、昼食代は各自負担

### ③ おうみ学生未来塾・湖西

## 日本人の信仰のあり方と山村集落のコミュニティの 現状と課題を考える（近江学 A）

成安造形大学が位置する近江（滋賀県）は中央に位置する琵琶湖とそれを囲むように連なる美しい山々という恵まれた自然環境を有するフィールドです。それだけでなく、古代から文化が形成されてきたために、多くの文化遺産を保有し、その伝統を今に伝えています。

この科目は、本学近くにある世界文化遺産比叡山延暦寺とその麓の仰木（集落）を訪ねます。日本の信仰の根源を体感しながら、地域の人々のコミュニティの現状を眺め、その現状と課題を探り、地域を積極的に検証することで、21世紀に息づく普遍的な価値観を見つけ出し、未来の社会に提案することを目的とします。



成安造形大学 提供

科目名 おうみ学生未来塾（湖西）

（成安造形大学科目名 「近江学 A」）

実施場所 成安造形大学 大津市仰木の里東4-3-1

比叡山延暦寺 東塔・西塔・横川

大津市仰木地区

実施時期 8月28日・29日・30日・31日

担当教員 加藤賢治准教授・石川亮助教・仁連孝昭客員教授

授業テーマ 「地域を知ることの大切さを学ぶ」

到達目標

- ① 難解な日本の神仏のあり方についてわかりやすく理解できる
- ② 先人の知恵をたどり、今に伝えられる大切な事象を捉えて今に活かすことができる
- ③ どこの地域においても活かすことのできる普遍的な価値観を身につけることができる
- ④ フィールドワークを通じて地域の暮らしやコミュニティのあり方について考えることができる
- ⑤ グループワーク・ディスカッションを通じてまとめる力や発表する力を身につけることができる

授業形態

1日目 大学集合 ガイダンス グループ分け自己紹介

2日目 比叡山延暦寺 東塔・西塔・横川見学（坂本ケーブルで山上に上

り、三塔を巡って、徒歩にて下山します。かなり山道を歩きます)

3日目 大津市仰木地区フィールドワーク（山村集落を歩きます）

4日目 大学にてグループディスカッションと発表

受講対象 大学2年次以上 短期大学1年次以上

成績評価 授業態度50%、レポート評価30%・プレゼン力評価20%

定員 30名

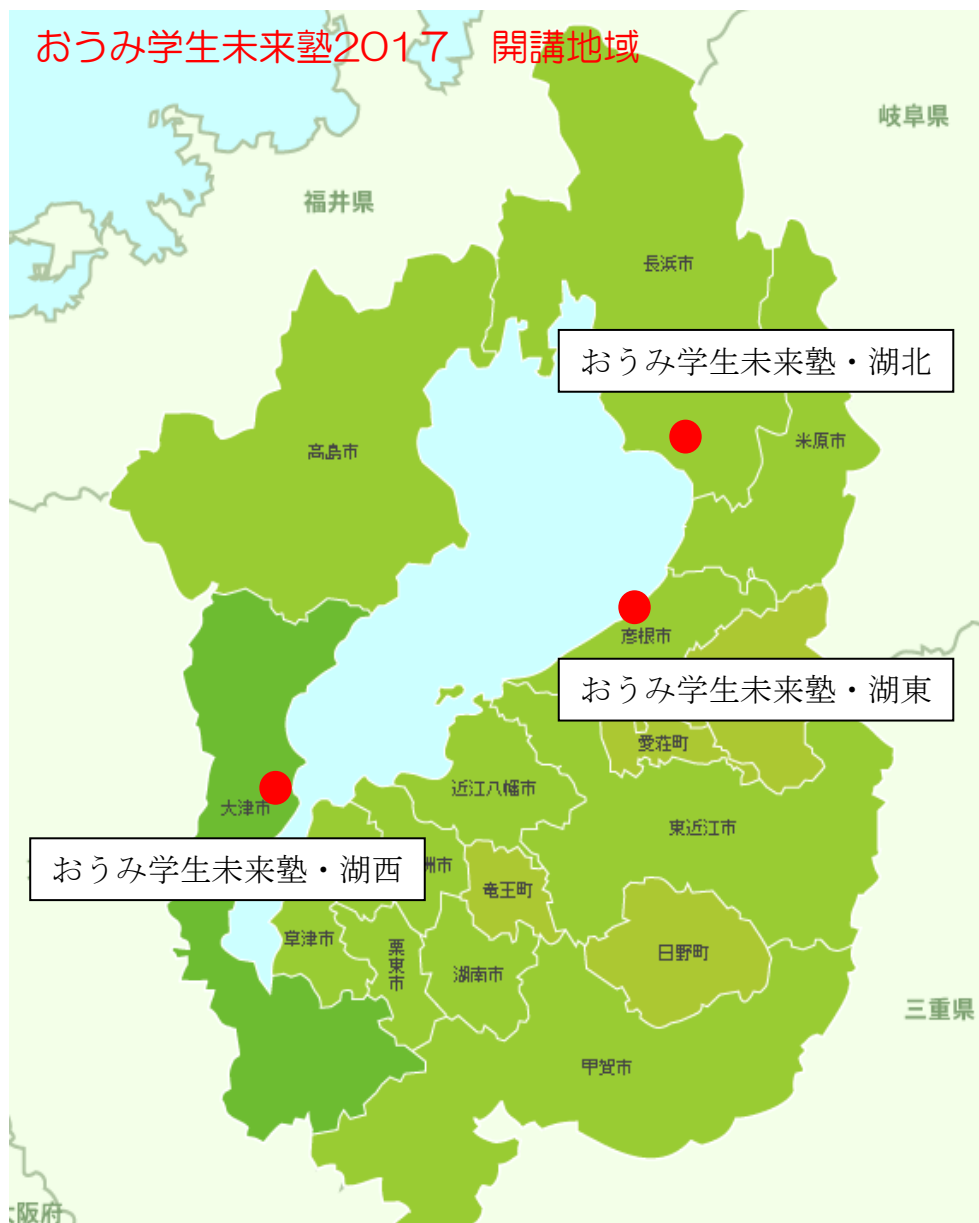
アクセス等 1日目 成安造形大学集合（JR おごと温泉駅から仰木の里循環バスに乗車  
成安造形大学前下車すぐ）

2日目 JR 比叡山坂本駅改札口集合

3日目 JR 堅田駅改札口集合

4日目 成安造形大学

費用負担 集合場所までの交通費



## 4、出願から成績評価まで

### 1. 履修計画を立てる（3月～4月上旬）

受講案内や科目開講大学で開かれるガイダンスなどで、授業スケジュール（開講曜日、時限）、授業実施場所などを確認のうえ、受講したい科目を選んでください。シラバスは、コンソーシアムホームページで3月中旬に公開予定です。

### 2. 出願（4月上旬～中旬）

環びわ湖大学・地域コンソーシアムホームページより出願票をダウンロードし、受講したい科目名と志望理由などを記入して、所属大学に出願します。科目によっては、履修許可発表が授業開始に間に合わない場合がありますので、許可発表までは仮受講してください。

### 3. 許可発表

科目開講大学で選考され、選考結果は所属大学・短期大学を通じて4月末頃までに通知されます。出願した場合は、必ず所属大学・短期大学に確認してください。許可発表の後、科目開設大学・短期大学によっては「特別聴講生証」発行などの手続きが必要な場合がありますので、科目開設大学・短期大学の指示に従ってください。また、受講は原則として無料ですが、実習費、演習費が必要な科目については、履修許可の後で、科目開設大学・短期大学の指示に従って納入してください。

### 4. 追加募集（6月頃）

夏季集中科目で受講定員に余裕がある場合は、6月頃に追加募集を行います。追加募集の許可発表は7月上旬頃の予定です。詳しくは所属大学・短期大学、環びわ湖大学・地域コンソーシアムホームページで確認してください。

### 5. 休講、補講、教室変更等の連絡

休講等の連絡は、原則として科目開設大学・短期大学から所属大学・短期大学に通知します。所属大学・短期大学で各自確認してください。

### 6. 試験・レポート提出等

単位互換科目の試験・レポート提出等に関しては、所属大学の期間と異なることがあります。必ず科目開設大学の単位互換担当窓口や掲示・案内などで確認してください。

### 7. 成績評価・単位認定

単位互換科目の成績通知の時期や単位認定の時期（学期末・年度末）は所属の大学・短期大学により異なりますので所属の大学・短期大学に確認して下さい。

## 5、よくある質問

### 1. 授業の詳細な内容を知りたいです。

環びわ湖大学地域コンソーシアムホームページからシラバス（科目一覧）を確認してください。シラバスは3月中旬公開予定です。

### 2. 「おうみ学生未来塾」は誰でも参加できますか？

環びわ湖大学・地域コンソーシアムの単位互換制度を使っているため、滋賀県内の大学・短期大学に所属している学生であれば誰でも受講できます。ただし、4年制大学の場合は2年次以上の学生である必要があります。

### 3. どのようにすれば、「おうみ学生未来塾」を受講することができますか？

シラバスに記載されている授業や活動の日程・実施場所等を確認し、参加が可能であることを確かめた上で、環びわ湖大学地域コンソーシアムのホームページから出願票をダウンロードして、志願理由などを記入の上、所属大学・短期大学から出願してください。

### 4. 開講日や提供大学が異なる複数の「おうみ学生未来塾」を出願することは可能ですか？

科目運営の都合上、同一年度に「おうみ学生未来塾」を複数科目出願することはできません。よく考えた上で、一科目のみ出願してください。

### 5. 追加募集（6月）で出願はできますか？

夏季集中科目で受講定員に余裕がある場合は追加募集されますので、出願できます。その場合でも、同一年度に複数のおうみ未来塾科目を出願することはできません。

### 6. 授業に関わる専門的な知識や技能がないのですが、受講できますか？

受講可能年次（学年）の制限や、必要な専門技能等の条件がある場合は、シラバスに記載されますので、それらを確認の上、出願してください。

受講条件に関する記述がない場合は、年次や専門的力量的の有無に関係なく受講できます。

### 7. 受講料等の負担はありますか？

基本的に受講料等は無料ですが、実習費、演習費が必要になる場合があります。また、現地までの交通費やフィールドワークの場合の合宿費等は自己負担となります。詳しくはシラバスを確認してください。